

教育目標	
心身共に健やかでたくましい子どもの育成	
年度末の最終評価	
自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	10月23日	学校運営協議会
最終評価		

## （１）幼児が主体的に遊ぶ姿を重視する 保育の改善・充実

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼児が主体的に心を動かし夢中になって遊び込み、楽しさが味わえるよう環境構成や教師の援助の在り方を考え、子どもの姿からの保育の見直し。</li> <li>・ 子どもの命を守りきるために安全環境を整備に努め、子どもが安心安全に活動できる環境づくり。</li> <li>○ 子ども一人一人へのねらいをもち計画性をもった保育と子どもの姿から1日の保育を振り返り、改善していくPDCAサイクルの確立。</li> </ul> <p>（取組結果を検証する）各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼児の姿の変容、事例検討</li> <li>○ アンケート項目①「子どもは楽しんで幼稚園に通っているか」②「幼稚園の環境は子どもが豊かな体験ができるよう整えられているか」③「幼稚園の安全管理は適切だと思いますか」</li> </ul>
---

自己評価	<div>各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の姿の変容について、写真を用いた事例研究、分析表を用いた分析、考察、検証などを行った。</li> <li>・ アンケート結果①A・B 95% C 5% ②A・B 100% ③ A・B 90% C 10%</li> </ul>
	<div>分析（成果と課題）</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート結果より、③の安全管理についてはBの回答の割合が多かった。</li> <li>・ 幼児の主体的な活動を通して学びに向かう力を育むための教師の援助や環境構成の在り方について、研究をすすめながら保育をする中で、教師のかかわりや援助、環境を見直すことができた。</li> <li>・ 事例研究は分析表を用いて、教師間のカンファレンスを重ねることで、子どもの見取り方の浅さや偏りがあることが明らかになった。このことは教師の保育の振り返りになったとともに教師間で共有ができたことは学びにつながった。</li> </ul>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の姿の変容を継続的に記録を通して検証しながら、幼児の学びが更に深まっていくよう、援助に努める。</li> <li>・ 幼稚園の安全管理については、教師の意図的な環境構成や保育のねらいを保護者に発信しながら管理体制を更に整えていく。</li> </ul>
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の姿の変容について、事例検討で更に願いや見通し、課題を的確に捉え、適切な援助や環境構成をしていく。</li> <li>・ 10の姿を意識しながら、教師の子どもの見取り方を深め、幼児理解につなげる。</li> <li>・ 保護者アンケートの結果</li> </ul>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会を参観して、一人一人の幼児がいきいきと、参加している様子がとても良かった。年長組のリレーは発達段階を考えた工夫がみられた。一生懸命、頑張る姿が感動的だった。日頃の保育が楽しいものだったことが伺える。アンケート結果も望ましい。</li> </ul>

#### 最終評価

中間評価時に設定した各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	重点目標の達成状況、次年度の課題
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## （２）小学校段階への学びにつなぐ「学びに向かう力」を育む **幼小接続の視点**

### 具体的な取組

- 乾隆小学校、紫野小学校との年間交流計画の作成
- 乾隆小学校、紫野小学校、楽只小学校、西陣中央小学校への保育公開、授業参観、合同研修
- 「親子で絵本！」の取組の定着

### （取組結果を検証する）各種指標

- 交流の事前・事後の検討内容について
- 公開保育・合同研修の回数・内容
- 「親子で絵本！」の活用
- アンケート項目①「保幼小連携、地域との連携等を活かした取組は子どもの心の育ちにつながっていますか」 ②「めざせ１００冊親子で絵本！の取組は楽しめていますか」

## 中間評価

### 各種指標結果

- ・ アンケート結果① A・B 96% C 2% D 2% ② A・B 60% C 38% D 2%
- ・ 乾隆小学校との管理職間の日常的な情報交換や懇談、休日参観、授業参観、運動会の見学などを行った。また、紫野小学校との保幼小連携の取組を年間計画のもと、交流をすすめている。
- ・ めざせ１００冊親子で絵本の取組は毎年度、取組をすすめているが、C、D回答が４割であった。

## 自己評価

### 分析（成果と課題）

- ・ 地域との連携を通じた取組が、保育の中に取り入れられ、地域の中で子どもたちが育っていると保護者が実感されていると言える。
- ・ 小学校との連携は管理職間の特に日常的な連携も含め、子どもたちの生活や遊びの様子を伝えてきている。次年度の入学に向けて、小学校から子どもの様子を参観していただくことも増え、幼稚園教育理解の機会としている。
- ・ 親子で読書の取組は幼稚園からの保護者発信や啓発、貸出の方法などに課題がある。

### 分析を踏まえた取組の改善

- ・ ２学期以降からの幼小連携に取組については、担任相互が話し合いの機会を増やし、子どもたちに何を育てたいかを明確にしながら連携をすすめていく。
- ・ 親子読書の取組については、絵本室環境を整えたり、貸出状況を把握しながらその方法を検討していく。保護者の意見より、多くの本と出合うことは大切であるが１００冊が目的になってしまうよう、保育を通して絵本に興味をもち、絵本が好きと思える子どもになるように取組んでいきたい。子どもの姿を通して家庭での取組につなげていきたい。

### （最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

- ・ 乾隆小学校との子ども同士の交流の意味を教師間で機会を増やし、互いの育ちにつなげる取組となるようにする。
- ・ 保護者アンケートの結果
- ・ 親子読書ノートの貸出状況

学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ めざせ100冊親子読書の取組は、卒業してみて今、振り返ると、親として子どものつづやきを記しておけば良かったと後悔するが、当時は書く余裕がなかった。どうすればノートが活用し易くなるのかを園と家庭とで見直してみてもどうか。</li> <li>・ 幼児期から絵本が好きになることは小学校での学習の基礎につながる。とても良い取組なので大切に続けて貰いたい。</li> <li>・ 子どもの興味のある本を集めることがきっかけで読書が好きになった。子どもの選ぶ本や傾向、興味関心を捉えていきたい。幼稚園でも季節の絵本、お薦め絵本などを紹介してはどうか。子どもたちの興味が広がっていくのではないだろうか。</li> <li>・ 幼稚園が地域の方々に見守られている中で、子どもが育っていることが伺える。乾隆まつり、敬老会など、幼稚園児の発表は地域としても有難く、感謝している。地域と幼稚園の連携を更に確かなものにしていきたい。</li> </ul>
---------	---

#### 最終評価

中間評価時に設定した各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	重点目標の達成状況、次年度の課題
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

### （３）自ら体を動かす意欲を育て、基本的な生活習慣を形成し、自信と自立心を育む心と体・生活習慣

<div>具体的な取組</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達段階に応じた、子どもが必要感がもてる生活習慣の定着と家庭との連携</li> <li>○ 思わず体を動かしたくなるような、保育環境の工夫と教師の援助、見通しをもった保育計画</li> </ul>
<div>（取組結果を検証する）各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 週案・子どもの姿の事例検討</li> <li>○ アンケート項目①「子どもは幼稚園生活を通して心身共にたくましくなってきたと思いますか」 ②「子どもは自分のことは自分でしようとしていますか」</li> </ul>

#### 中間評価

各種指標結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート結果 ① A・B 95% C 5% ② A 30% B 55% C 15%</li> <li>・ 総合遊具、一輪車、竹馬、一本歯下駄、竹ぽっくり、しっぽとり、帽子取りなど学年の発達段階に応じた運動的な遊びを教師が意図的に取り入れ、体を動かす充実感が味わえ、主体的に挑戦する</li> </ul>

<p>姿が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣の確立に向けて、子どもが必要感をもち、生活をすすめる様子が伺えた。</li> </ul>	
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート①「心身ともにたくましくなってきたと思いますか」では95%がA回答であった。幼稚園の環境を通して、子どもたちが自ら体を動かす喜びを感じ、全身で活動する様子をたくましく感じておられることが伺える。</li> <li>アンケート②「自分のことは自分でしようとしていますか」ではA回答が30%である。C回答が15%あり、保護者の子どもへの期待が大きく、厳しい評価である。</li> <li>生活習慣の確立については、個々の発達に応じ、家庭との連携を取りながら、子どもの様子を丁寧に伝え、指導していくことが必要である。</li> </ul>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の発達に必要な経験や活動を教師が読み取り、適切な環境構成や援助を工夫する。</li> <li>子どもが最後まで諦めずに自信をもってやり遂げ、達成感を味わえるような援助に努める。</li> <li>子ども自身が健康な生活を送る意識が深まるよう、保健職員による保健指導や保護者へのほけんだよりを通して工夫していく。</li> </ul>
	<p>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>週案，事例検討，研究発表に向けた取組からの検証</li> <li>アンケート結果</li> <li>保健指導の年間計画の作成と毎月の見直し</li> </ul>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動会の様子から子どもたちが一生懸命、全身を使って思い切り活動する姿にたくましさを感じた。幼稚園に通い、友達や先生とのかかわりを通して育っていくのだなと感じる。</li> <li>親は周りの子どもたちと我が子を比べてしまうが、子ども一人一人の育ちの過程を丁寧に受け止め、認めていきたいものである。</li> </ul>

#### 最終評価

中間評価時に設定した各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	重点目標の達成状況，次年度の課題
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

#### （４）自己発揮と自己抑制の調和のとれた自律性（折り合う心）を育む保育を推進する

具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安心安定して園生活を過ごすための教師との信頼関係づくり</li> <li>○ 発達に応じた友達との人間関係づくり</li> <li>○ 一人一人の思いを大切にしたい自己肯定感を育む援助</li> </ul>
(取組結果を検証する) 各種指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの姿からの事例検討</li> <li>○ アンケート項目①「子どもは家族、先生、友達など周りの人に親しみをもってかかわっていますか」 ②「教職員が連携しながら子どもにかかわっていると思いますか」 ③「教職員は子ども一人一人に温かいかわりをしていると思いますか」</li> </ul>

中間評価

各種指標結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート結果 ①A 55% B 46% C 2% ②A 60% B 38% C 2% ③A 57% B 43%</li> <li>・ 研究保育、事例研究などを通し、子どもの姿を出し合い話合った。</li> </ul>
自己評価	分析(成果と課題)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者アンケートの回答では③は100%の保護者が教職員が温かいかわりをしていると評価されている。</li> <li>・ 園内研究、研究保育、事例研究などを通し、子どもの見方や内面の捉えについての話し合いや分析を深めた。子どもを多面的に捉え、認めていくことで子どもの自己有用感にもつながった。</li> <li>・ 教職員が連携して子どもにかかわっているかの項目ではC評価があった。</li> </ul>
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も教職員がチーム保育に努め、温かいかわりの中で子どもたちが自己表出や葛藤を経験しながら、相手の思いに気付いたり、自分の気持ちを調整できるような力が育まれるよう、援助を心掛けていく。</li> <li>・ 子どもたちが主体的に取り組み、夢中になって遊びこめる環境を工夫していく。</li> <li>・ 教職員間の更なる連携強化に努める。</li> </ul>
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート結果</li> <li>・ 一人一人が自信をもって自分らしさを十分に発揮できる援助</li> <li>・ 人権研修、園内研究での事例検討</li> </ul>
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員の温かいかわりの中で、子どもたちが自己肯定感や自己有用感をもち、成長していることがわかる。アンケート結果も望ましい。これからも一人一人丁寧にかかわって欲しい。</li> <li>・ 運動会での教職員の子どもへのかかわりでその様子が伺えた。教職員の一生懸命さが子どものたちの成長につながっていると感じた。また、地域に幼稚園の教育を観てもらう良い機会だと感じる。更に今後も教育の発信をして欲しい。</li> </ul>

最終評価

中間評価時に設定した各種指標結果
------------------

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	重点目標の達成状況，次年度の課題
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策